

議 事 録

会 議 の 名 称	第 2 2 回玉里学園義務教育学校開校準備委員会																																																								
開 催 日 時	令和元年 1 2 月 9 日 (月) 1 9 時 0 0 分 ~																																																								
開 催 場 所	玉里保健センター 集団検診室																																																								
出 席 者	<p>【出席委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>狩谷 孝則</td> <td>相澤 博文</td> <td>亀井 研一</td> <td>久保田香織</td> </tr> <tr> <td>中山 恵弘</td> <td>大関 律子</td> <td>堀川 和男</td> <td>稲田 義弘</td> </tr> <tr> <td>園部ゆかり</td> <td>新妻 広章</td> <td>皆川 修</td> <td>吉永 成範</td> </tr> <tr> <td>大枝 利任</td> <td>渡邊 信幸</td> <td>鶴町 文男</td> <td>吉倉 一郎</td> </tr> <tr> <td>亀井 優</td> <td>藤田 泰正</td> <td>室町 弥</td> <td>大槻 良明</td> </tr> <tr> <td>戸田 見良</td> <td>大山 徳</td> <td>佐川 智美</td> <td>中嶋 正也</td> </tr> <tr> <td>原田 啓司</td> <td>笹目 賢一</td> <td>山口 智志</td> <td></td> </tr> </table> <p>【欠席委員】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>市村 勝則</td> <td>伊藤 岳快</td> <td>大山 敏治</td> <td>室町 恭司</td> </tr> <tr> <td>橋本 昌弘</td> <td>遠藤 康子</td> <td>上田貢一郎</td> <td>西村 恵子</td> </tr> <tr> <td>相澤 牧夫</td> <td>田山 恵子</td> <td>宮田 実</td> <td>長津 智之</td> </tr> <tr> <td>向後 鷹宏</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【事務局】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>加瀬 博正</td> <td>中村 均</td> <td>白井 律子</td> <td>狩谷 秀一</td> </tr> <tr> <td>菅谷 清美</td> <td>片岡 理一</td> <td>植田 薫</td> <td>入野裕美子</td> </tr> <tr> <td>田口 智大</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	狩谷 孝則	相澤 博文	亀井 研一	久保田香織	中山 恵弘	大関 律子	堀川 和男	稲田 義弘	園部ゆかり	新妻 広章	皆川 修	吉永 成範	大枝 利任	渡邊 信幸	鶴町 文男	吉倉 一郎	亀井 優	藤田 泰正	室町 弥	大槻 良明	戸田 見良	大山 徳	佐川 智美	中嶋 正也	原田 啓司	笹目 賢一	山口 智志		市村 勝則	伊藤 岳快	大山 敏治	室町 恭司	橋本 昌弘	遠藤 康子	上田貢一郎	西村 恵子	相澤 牧夫	田山 恵子	宮田 実	長津 智之	向後 鷹宏				加瀬 博正	中村 均	白井 律子	狩谷 秀一	菅谷 清美	片岡 理一	植田 薫	入野裕美子	田口 智大			
狩谷 孝則	相澤 博文	亀井 研一	久保田香織																																																						
中山 恵弘	大関 律子	堀川 和男	稲田 義弘																																																						
園部ゆかり	新妻 広章	皆川 修	吉永 成範																																																						
大枝 利任	渡邊 信幸	鶴町 文男	吉倉 一郎																																																						
亀井 優	藤田 泰正	室町 弥	大槻 良明																																																						
戸田 見良	大山 徳	佐川 智美	中嶋 正也																																																						
原田 啓司	笹目 賢一	山口 智志																																																							
市村 勝則	伊藤 岳快	大山 敏治	室町 恭司																																																						
橋本 昌弘	遠藤 康子	上田貢一郎	西村 恵子																																																						
相澤 牧夫	田山 恵子	宮田 実	長津 智之																																																						
向後 鷹宏																																																									
加瀬 博正	中村 均	白井 律子	狩谷 秀一																																																						
菅谷 清美	片岡 理一	植田 薫	入野裕美子																																																						
田口 智大																																																									
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門部会からの報告 ・ 校章デザインの報告 																																																								
会 議 資 料	別 紙 (会議次第、 ほか)																																																								
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録																																																								
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 (傍聴者 0 人)																																																								

【報 告】

市議会議員の改選により、委嘱した委員の報告

新委員：長津 智之、戸田 見良 継続委員：大槻 良明

【委員長あいさつ】

お忙しいところ、お集まりいただき、ありがとうございます。

開校まで1年4ヶ月となり、校舎建築工事が進んでいるところです。

本日の委員会は、専門部会からの報告ということで、慎重な審議をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【協 議】

(1) 学校運営部会からの報告

◆資料1-1、部会資料1に基づき、部会長より説明

委員長 学校運営部会からの報告について、意見や質問等はあるか。

— 意 見 等 な し —

委員長 それでは、報告のとおり引き続き進めていただく。

【協 議】

(2) P T A部会からの報告

◆資料1-2、部会資料2、3に基づき、部会長より説明

委員長 P T A部会からの報告について、意見や質問等はあるか。

委 員 4つの学校がまとまるため、非常に大きな組織になるが、1つの組織で活動していくのか、あるいは下部組織を作って活動するのか。

部会長 P T A組織自体は、1つの組織であるが、下部組織として、専門委員会を設置する。

今回の報告にあった地区委員会は、専門委員会の1つであり、委員数については、地区ごとに割り当てることとした。

委 員 地区委員会の委員選出について、小学校区という大きな単位で選出を行うことになっているため、選出がしづらい。

部会長 部会で決定した事項については、次回の部会までにP T A役員及び学校で確認し、意見をいただくことになっている。

地区委員の人数の決定方法にあたっては、委員数が増えると、活動がしづらくなるなどのことから、部会では、案の人数とした。

委員長 P T Aに関しては、現在のP T A役員と学校との間で十分に検討し、最終決定をしていただきたい。

その他に意見等はあるか。

— 意 見 等 な し —

委員長 報告のとおり、進めていくことで決定する。

【協 議】

(3) 総務・通学部会からの報告

◆資料1-3、部会資料4～6-2に基づき、部会長より説明

委 員 開校初年度の運行時刻について、部会資料6-2を、北部地域の①石岡玉里発と南部地域の①野口理容所発を、いずれも7:20から7:30に訂正したが、学校到着時間は、7:50のままで良いか。

事務局 北部地域、南部地域ともに最大乗車時間は20分間を想定しているため、学校到着時間は、7:50のままでお願いしたい。

委 員 通学路や登校班は、準備委員会で検討するのか。

部会長 まず、通学路は、基本的には学校が指定する。

しかしながら、学校では全ての通学路を把握できるわけではないため、地域の地区委員や子ども会の方々に、意見をいただいた上で、指定する。

また、学校は、決定した通学路を教育委員会へ報告する。

次に、登校班について、子ども会単位で検討している学校と、学校がある程度決定した上で地域へ確認し、調整してもらう学校等、学校によって検討方法はそれぞれであるが、最終的には学校が決定する。

委 員 通学路と登校班ともに、現在は各校で取りまとめており、開校初年度も同様になると思うが、開校2年目はどのように検討するのか。

部会長 開校初年度の通学路と登校班については、現在の学校でそれぞれ考えてもらい、2年目以降は、新しい学校に内容を引き継いだ上で検討していくこととなる。

委 員 部会資料6-2の凡例について、図面の太枠で囲まれている「指定する行政区」とは、どのような意味か。

部会長 まず、基本的には、遠距離通学支援は、学校までの距離が3km以上の児童とする。

路線バスの「石岡玉里」と「玉里駅」は、学校までの距離が概ね3km以上に位置するため、この乗降所から乗降する児童は、遠距離通学支援の対象となる。

また、質問のあった太枠の行政区の児童は、学校までの距離が概ね3kmであるが、例えば、栗又四ヶの一部地域の児童が、「石岡玉里」や「玉里駅」から乗降しなければ支援が受けられないとなると、乗降所までが遠く、支援の意味があまりない。

そのため、太枠の行政区については、路線バスの乗降所の「玉里工業団地西口」～「玉里北小前」間から乗降する場合にも、支援することで決定した。

言い換えると、太枠の行政区以外の児童は、「石岡玉里」または「玉里駅」から乗降する場合のみ、支援の対象となる。

委 員 計画がある程度まとまっている中での質問になるが、北部地域の通学支援方法について、路線バスに決定した経緯を確認したい。

国道355号から北部の地域の児童について、355号に出るための道が旧道しかなく、乗降所まで車で送迎する保護者も出てくると思う。

また、乗降所まで送迎するのであれば、学校まで送迎する保護者も出てくると思うため、バスの利用者が減少すると、バスを運行する意味があまりなくなってしまうと感じた。

部会長 北部地域の通学支援方法として、路線バスに決定した理由について、まず、乗降所の問題が挙げられる。

スクールバスとした場合、児童が安全に乗降できる適当な乗降所がない。

路線バスの場合、既存のバス停を利用でき、屋根が付いているバス停が多く、さらに、バス専用道区間においては、他の車両の往来がないため、安全に乗降できる。

また、運行経路についても、バス会社と調整し、本来は「小川駅」止まりである経路を学校まで延伸してもらえることになった。

これらのことを踏まえ、北部地域については、路線バスの方が、児童が安全に通学できると判断し、決定した。

委員 南部地域については、スクールバスに決定しており、乗降所の設置箇所等、自由度が高いようにも感じるため、北部地域が路線バスに決定した理由について、保護者に説明する機会があると良いと思う。

委員長 その他、意見や質問事項等はあるか。

—意見等なし—

委員長 それでは、報告のとおり進めていくことで決定する。

【その他】

校章デザインの報告について

次回の準備委員会、専門部会の日程について

◆事務局より、補正後の校章デザイン、今後の準備委員会及び専門部会の日程について報告

委員 校舎建設が始まっていると思うが、建設事業者や金額等について、報告はしてもらえるのか。

事務局 施工については、株木建設株式会社、鈴縫工業株式会社、株式会社鶴亀の3社が、共同企業体という形で請け負っており、受注金額は、23億3,750万円である。

また、工事に関しては、3月に予定している次回の準備委員会において、進捗状況を報告させていただく。

閉会 (19:50)